

事業計画書(その1)

<p>団体の目的 *定款, 規約, 会則等に定めている目的を, そのまま転記してください。</p> <p>この会は、いつでも誰でもどんな時も集まれる場所を提供し、話したり聞いたりする中で、癒しの場コミュニティーの場を作る。特に社会に馴染みにくい子供や若者が、色々な体験をすることで自信を取り戻し、社会に繋がることを目的としている。</p>
<p>事業の分野</p> <p>保健, 医療又は福祉の増進 <input checked="" type="checkbox"/>社会教育の推進 <input checked="" type="checkbox"/>まちづくりの推進</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>観光の振興 <input type="checkbox"/>農山漁村又は中山間地域の振興 <input type="checkbox"/>学術, 文化, 芸術又はスポーツの振興</p> <p>環境の保全 災害救援 地域安全 人権の擁護又は平和の推進 国際協力</p> <p>男女共同参画社会の形成の促進 <input checked="" type="checkbox"/>子どもの健全育成 <input type="checkbox"/>情報化社会の発展</p> <p>科学技術及び学術の推進 経済活動の活性化 <input checked="" type="checkbox"/>職業能力の開発及び雇用機会の創出</p> <p>消費者保護 団体の運営又は活動に関する連絡, 助言又は援助</p>
<p>事業の概要 *事業の全体像を簡潔に記入してください。</p> <p>倉敷美観地区町家で「一汁一菜食」にこだわったランチを提供する。その中で「倉敷の文化を伝える」ワークショップを開催し、情報交換の場にもなり、地元の人たちの憩いの場、観光に来た人たちとのふれあいの場にもなる。特に社会に馴染みにくい若者たちが、ランチ提供やワークショップの手伝いをする、中間的就労体験の場を目指している。</p>
<p>社会的背景と解決しなければならない課題</p> <p>* 提案するに至った社会的背景や市民ニーズ等は何ですか。また解決しなければならない課題は何ですか。</p> <p>不登校やひきこもり傾向にある若者及びニートと言われている人たちは、自分に自信を無くしている場合が多い。社会参加をしたくてもなかなか一歩が踏み出せない。このような若者たちが、色々な人たちと触れ合ったり、関わったりすることで、また出来ることから少しずつ始めることで自信がつき、アルバイトを始めたりなど、社会参加のきっかけとなる中間的就労の場が必要である。私たちが関わっている若者は、自信を取り戻しつつあり、継続が必要である。</p> <p>倉敷の中心市街地は、高齢化が進み高齢者が孤立化し、老人の引きこもり者が増えていく。が、チラシをポスティングすることで、チラシを持ってカフェの食事を楽しみに出かけてくれている。そこで、ご近所の方とお話したり次の会のお誘いをしたりしている。やはり、継続することが大切である。また、東町の町内のかたがたとの情報交換及び、連携が必要である。</p> <p>美観地区には、高級な食事が出来る店はたくさんあるが、小さな子どものいる家族連れや単身者が、郷土食や家庭料理を安心して手軽に食べられる店が少ない。立ち寄って食事をした方々は喜んで帰って行かれる。回数を増やしていければと思われる。</p> <p>このような課題から、色々な人達が食事をしたり、お茶を飲んだりしながら、倉敷</p>

の文化や伝統を話したり、諸問題を解決するためのコミュニティーの場所が必要である。

受益者の範囲 * 提案する事業の対象範囲を具体的に記入してください。

不登校及び引きこもり傾向にある若者およびニートと言われている人達とその家族

倉敷市民と町家周辺に住む人達

倉敷を訪れた観光客

事業の成果 * の課題に対して、事業を実施することで得られる成果とは何ですか。

「一汁一菜食」の提供を通して若者は、地域の方や観光客と接し、働くことに自信をつけることができる。また、カフェの運営には、色々な工程がある。接客が苦手な人には、裏方の仕事だったり、開店前や後の準備・片付け、ご近所への案内をポスティングしたり、チラシ作り、など色々な仕事に携われる。それぞれにできることから、また少しの時間からでも無理のないところで出来るので、少しずつ自信をつける事ができる。それが自立へと踏み出す一歩となる。

またカフェに来ることで、町家周辺に住む人、特に高齢者の方々が、若者との交流や、観光に来た方々との交流ができ、生きる糧ともなりうる。

年々倉敷美観地区を訪れる観光客が増えている様子であり、東町周辺の活性化にもつながっている。

事業の目標

* の成果を測る目安です。想定する結果より少し高いレベルで設定してください。また、目標の進捗状況を市の指定するブログに定期的に投稿していただきます。できるだけ数値やパーセントを用いてください。

月2回のカフェを開催。各回利用者30名を目標とする。また、多くの若者の参加を促すため、各機関との情報交換会を年間2回以上開催する。

事業計画書(その 2)

事業の詳細

* 実施時期, 場所, 対象者, 内容, 特徴や重点事項など, できるだけ内容を明確にしてください。

ランチ提供のカフェ開催。

- ・ 場所 倉敷市東町、NPO 法人倉敷町家トラスト事務所
- ・ 毎月第三・四日曜日 11時30分～15時30分 24回
- ・ 体に良い、昔から食されている「一汁一菜食」を中心としたメニューにこだわる。
- ・ 地産地消、家庭菜園などから提供してもらった材料を中心に使用

ランチ代金 650円～+

ご近所のかたへは、100円お引きする。毎月チラシを発行(地元の方々には、色々とお世話になっているので、少しでも利用しやすいようにしている)

カフェ開催時に3回の体験型ワークショップ

参加費 第2回及び第3回は、材料費(実費)

ワークショップ

第1回 「七夕飾りを作ろう」 8月7日(日)

- ・ 倉敷伝承地区をまもり育てる会に協力

カフェ利用者に七夕飾りを作って、月遅れの地域の祭りを知ってもらう。

第2回 「まつり寿司をつくろう」 9月ランチ開催日

- ・ ご近所のお年寄りと一緒に作る。

第3回 正月を祝おう「門松を作る」 12月ランチ開催日

「若者を語る会」2回開催

カフェの紹介も兼ね、居場所としての利用も促す。

参加費 300円(お菓子とお茶代)

6月、2月の2回を予定。

四季折々の郷土食をランチメニューに取り入れる。

5月「春の郷土食・春寿司」

8月「夏の郷土食・ぶっかけ麺」

9月「秋の郷土食・祭り寿司」

2月「冬の郷土食・ふな飯」

地元につながる、家庭料理を取り入れる様心がけている。

NPO 法人倉敷町家トラスト事務所は、温かくゆっくりできる雰囲気がある。

そこで、色々な人達が集えるコミュニティーの場所作りをする。また、倉敷美観地区にあり、地域の伝統的な文化を伝える事が出来れば良いと思う。これからの運営をしていく上での活動の基盤づくりとして行く事を目的とする。

受益者負担 団体の財源確保のため、可能な限り参加費等を徴収してください。

* 参加費や受講料を一般の参加者から徴収しますか。該当するものを丸で囲んでください。

徴収する ・ 徴収しない

* 「徴収しない」とした場合、その理由を記入してください。

事業計画書(その 3)

事業の見通し * 2年後, 3年後といった将来, 事業をどのように展開させていきますか。

「一汁一菜食」を中心にしたランチを提供するカフェの開催をする上での経費及び人件費を、捻出できるようにしていく。

月 2 回の開催ではなく、毎週開催し、若者が参加できる回数を増やす。

団体の能力の活用

* 団体の持つ能力や特色を, 課題の解決にどう活かしていきますか。

長年不登校の支援活動に関わる中で、若者やその家族との交流や町家 CAFÉ 開催で地元の方たちとの関わりの中から、カフェやワークショップへの参加を呼び掛けることができる。岡山高等学院との連携により参加協力を呼びかけできる。教育委員会生涯学習課主催「わくわくワーク(仮称)」事業の協力団体に登録(28年度予定)協賛。保健所にも連携や協賛をいただける。私たちは、NPO 法人 KUKKA の会員でもあるため、不登校に関係する色々な情報が入る。

一汁一菜食に関しては、主婦の集まりなので、健康に良い、美味しい家庭料理が提供できる。地元の年配者から伝統食を教えてもらえる。知り合いが、家庭菜園をしているので、野菜など提供してもらえる。

また、スタッフは不登校経験者の親や本人が多く、ゆっくりと経験に基づいた関わりができる。

他団体等との協力

* 他団体等と協力して事業を行う場合は, その団体名や役割を記入してください。

- ・ NPO 法人倉敷町家トラスト 場所の提供。ご近所の方への呼びかけ。
- ・ 岡山高等学院 イベント参加、手伝い。若者の就労体験。
若者や家族の相談にのる。
- ・ 倉敷伝統地区を守り育てる会 伝統文化の伝承。

行政との協働 自主事業部門の団体は記入不要

主となる部署名() 主部署の同意(あり ・ なし)

その他の部署名(,)

協働する部署との協議

月 日(内容:)

月 日(内容:)

月 日(内容:)

協働する部署の役割

予算書

(収入の部)

(単位：円)

項目	金額	内容
受益者負担 (参加費, 受講料など)	12,000	参加費 300 円*20 人*2 回
会費からの繰入金	33,000	
その他	540,000	650 円*5 食*24 回+550 円*5 食*24 回 850 円*15 食*24 回+750 円*5 食*24 回
市補助金	300,000	
合計	885,000	

(支出の部)

(単位：円)

区分	項目	金額	内容
経費 (対象経費)	人件費(団体会員に支払うもの, 交通費を含む)	30,000	会員の交通費
	人件費(団体外部に支払うアルバイト代等)	125,000	アルバイト 650 円/h*4h*2 人*24 回
	謝金 (講師等に支払うもの)	10,000	ワークショップ講師 5,000 円*2 回 交通費含む
	旅費交通費 (講師等に支払うもの)	24,000	ボランティア交通費 500 円*2 人*24 回
	消耗品費	60,000	事務用品、ワークショップ材料 10,000 円*3 回 レジュメ、案内、コピーインク・紙 30,000 円
	印刷製本費	60,000	チラシ、案内 30,000 円*2 部
	通信運搬費	2,000	案内送付切手 82 円*20 部
	保険料	2,000	行事保険 28 円*20 人*2 回
	使用料, 賃借料	65,000	町家使用料 2500 円*24 回 打ち合わせ使用料 1000 円*5 回
	委託料		
	小計	378,000	
経費 (対象外経費)	報償費・人件費	231,000	カフェ人件費 800 円/h*6h*2 人*24 回
	食糧費	246,000	ランチ食材費 300 円*30 食*24 回 その他材料 30,000 円
	その他	30,000	消耗品
	小計	507,000	
合計	885,000		

(記入上の注意)

団体会員に人件費及び交通費を支払う場合は、申込み前に事務局に相談してください。
 実施可能な経費、内容に見合う経費で計画してください。過大な経費は避けてください。
 内容欄には、単価・数量等の内訳を記入してください。(別紙添付も可)
 事業実施のために直接必要な経費だけ計上してください。団体の運営経費は対象外です。